



閉校舎に学びの**秘密基地**を創ろう！

VISION (実現したい未来)

私が私でいて良いんだと思える社会

↑ 未来軸

VALUE (約束する強み)

- ・遊びが原点
- ・個を魅せる組織
- ・志ある人材の育成



MISSION (私たちが果たす使命)

ワクワクして遊び続けられる
学びの場と機会の提供



SPIRIT (大切にしたい精神)

- ・ワクワク
- ・みんなが先生
- ・より良くで豊かに



事業名
閉校舎DIY



内容
学び場づくり



学習者同士の対話により
ワクワクが始まる秘密基地



中高生の「ワクワク」を応援しよう！

事業名 とっとり未来Lab. **マイプロジェクト**

内容 中高生の学び(探究)の機会づくり



鳥取県の中高生が対話を通してワクワクする
「やりたい！」を見つけ行動に移すイベント

大学生の「ワクワク」を楽しもう！

事業名 フロンティア未来Lab.

内容 遊び的に挑戦する内部プログラム



「好き・興味・得意」から始まる新しい自分の発見

事業名 学びのクラスルーム



ファシリ 自己内省 企画創造 資料作成 思考力 親子lonl
みんなが先生となってスキルを共有し自己実現へ！

「ワクワク」に出会おう！

事業名 外部学生交流会

内容 面白い人との出会いの場



事業名 地域支部活動



各大学ごとでの特色ある対面活動

安部小 閉校

2017.03.31



中高生のノリで鬼ごっこ&清掃活動を開始!

全校児童39名で、
143年の伝統に幕を閉じる



安部小 Project

2018.04.01

校舎内 鬼ごっこ

2017.10.15



夏祭りに向けて幼馴染が集まる!



保育所工事前に
校庭に雪文字を作成

中高生主催 安部っ子夏祭り

- ・主催の中高生が「ワクワク」する夏祭りを開催
- ・校区内6集落、全集落にご協力いただき実施
- ・集落人口800名の半数越え450名の来場記録
- ・八頭中学校ジュニアリーダーも参画



鬼ごっこという『遊び』から始まったドラマ

「先生おらんし怒られんけ、校舎内で鬼ごっこしようや!」から始まった。
ただの中高生のノリの遊びだった。でも、いつの間にか自分たちの楽しい
遊びが、社会にちょっとだけ貢献することに繋がっているのかもしれない。



Frontier School

2020.04.01

田舎力 甲子園受賞

2019.07.21

県知事賞 受賞

2019.03.01

SOC 受賞

2017.03.31



2年連続で全国表彰式へ!
活動が全国へ羽ばたく。

主催:プルデンシャル生命
後援:文部科学省

閉校舎に**学びの秘密基地**を創ろう!

あーとふる八頭(旧安部小)内に学び場をDIYし、やりたいことを挑戦する拠点に!!



社会教育をフィールドに**ワクワク**が原点の教育

心が動く「ヒト」と「コト」に出会いたい。だからこそワクワクが原点の学び合いを。



SWOT分析

STEP 4 4象限でかけ合わせて現状分析してみよう！

内部要因

外部要因

機会

脅威

強み

弱み

STEP 1・2の「強み」で重要そうな付箋をここにコピペ

- 遊び心、ワクワク感など雰囲気を重視 (原点が閉校舎での鬼ごっこ)
- 全国の大学生60名以上が参画 学部が教育以外も多様に集結
- 個を魅せる組織 (代表ではなく個々人が輝ける組織)
- 公的機関との連携協働 (八頭町教育委員会など)
- 内部育成プログラムのこだわり (挑戦したいことの発見+モチベアップ)
- 教育理論を応用した戦略的計画 合理と情理のバランスが担保されている
- 中高生や大学生に新しい価値観を提供
- 6年間の継続 (一般的に学生団体の寿命は2.5年)

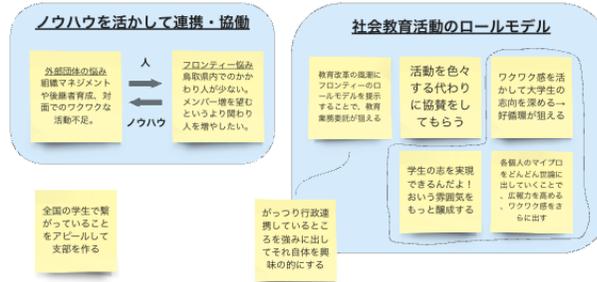
STEP2の「弱み」で重要そうな付箋をここにコピペ

- 本拠地である鳥取のメンバーが少ない
- 対面で全員が集うのが難しい
- 教育は成果がすぐには目に見えにくい
- 自由度が高い故1人1人の基準がバラバラ 親子1on1のばらつき (要改良)
- 未だ広報に力を入れていない
- 現地の地域の人との交流は 安部小Project以外取り入れてない
- 事務作業をほぼ理事会で担っている
- 対面活動に参画しないと 達成感を感じにくい

STEP3の「機会」で重要そうな付箋をここにコピペ

- 教育改革の雰囲気
- 公共団体の支援
- 学生の志向
- 多様な学生団体との連携要望
- オンライン市場の拡大
- 授業や講演の依頼
- 対象となる中高生の組織がある
- 広報手段が多い

「機会」をどのような「強み」を活かして捕えていくか？



「機会」をもっと捕まえられるようになるためには「弱み」をどう改善すればよいか？

- フロンティアに関わる鳥取の大学生を増やす (フロンティアに入らなくても良い)
- 支部を作る 各地域ごとの対面活動を増やし交流を活発にする
- 教育イベントの様子を参加した子供の保護者に視覚的に見えるようにする→寄付金にもつながるかも！
- 親子1on1が盛り上がる仕組みづくり。来年度は親が組織構造上、動きやすくなるはず。
- 広報手段はある。ワクワクを色んな人に伝えたいと思う内発的動機づけを行なっていく。
- 将来構想にあるSHIENにカタチを近づける
- 特色ある地域支部別活動と現在の全体の活動をしたい！
- ふるさと納税で寄付金をUPすることで信頼度を高めていく
- 対話できる機会を意図的に作ることで、ひらめきが増えやすくなる

STEP3の「脅威」で重要そうな付箋をここにコピペ

- 公共団体の状況変動 (人事異動や法令等の縛り)
- 他団体の干渉

「脅威」をどのような「強み」を活かして回避していくか？

- 一箇所に依存するのではなく幅を広げておくことで、選択できるようにしておく
- 戦略的計画を分かりやすく意識しておく
- ハブになっている(情報持ちの)人と繋がりをしておく
- ノウハウを通じて色んな団体と繋がって情報を知る。フロンティア自身がハブの存在に。

「脅威」を最低限の影響に止めるためにどの「弱み」にどう注意していくべきか？

- 大きなことが起きた時に全体で解決に向けて検討できるように親子1on1等を通じて絆を深めておく
- ちょっとした不安くらいなら乗り越えていくぞ！と思えるようなマインドの醸成
- 個人同士のつながりができる機会を意図的に設ける




あなたの「やりたい!」を皆人と共に。一生の青春を開拓せよ。

Frontier School

We will continue to challenge and explore with our friends. And open up the future.




安部小Project
Abe elementary school project



artful YAZU
八頭町芸術文化交流プラザ
あーとふる八頭



岡山大学
SDGs アンバサダー
Okazaki University SDGs Ambassador

心が動く「ヒト」と「コト」に出会いたい

